



図13 FNP評価例

表1 画像評価結果（臨床例）

	直腸	S状結腸	下行結腸	横行結腸	上行結腸	盲腸
描出範囲・背側	4	5	5	5	3	5
描出範囲・腹側	4	5	4	4	3	4
描出範囲・総合	4	5	5	5	3	5
バリウム附着	5	5	5	5	5	5
部位別便残渣	5	5	5	5	5	5
はがれ・ひび割れ・凝固	4	4	4	4	4	4
FNP	2	2	3	2	3	2
総量便残渣	4					

て評価3となる（図13）。

6) 臨床画像評価例（表1）

二重造影像の描出範囲において、直腸、上行結腸が画像評価基準をクリアできなかった一臨床例を提示する（図14）。

4. 画像評価と描出率との関係について

画像評価と描出率との関係について、早期大腸癌、手術症例における併存ポリープ、および複